

「新城リレーマラソン大会」に出場！

こんにちは。先日 11 月 3 日に、新城市で開催された「新城 RUN FES」に出場して参りました。21km のコースを約 10 名で継走するリレーマラソン大会です。

当社からは 18 名が出場し、2 チームで参加しました。結果はご愛嬌（？）ではありましたが、全員完走することができました。

個人でマラソン大会に出場するよりも、やはり仲間で励まし合いながら走るマラソンはモチベーションも高く、完走し終わった後は達成感もひとしおでした。



今月のカーテンよもやま話



今回は、窓用カーテンについてお話をいたします。窓に取り付けるカーテンは、大きく分けて、「ドレープカーテン」「レースカーテン」に分かれます。

「ドレープ」とは重厚感のある厚手の生地のことを言い、ドレープ生地を使用したカーテンをドレープカーテンと呼びます。知っている方もおられるのですが、意外と「ドレー

プ」の名称は知られておらず、「窓カーテン」と呼ばれる方も少なくないようです。

ドレープカーテンは用途と素材によって、更に「ドレープカーテン」「遮光カーテン」に分かれます。ドレープカーテンは厚手で柄がありますが、光を通します。それに対して、遮光カーテンは光を通し辛い生地や、裏地を利用して遮光性を高めています。

レースカーテンは、透明感のある、薄手の生地で作られており、通常ドレープと二重で吊られます。

他にも、ドレープとレースの間である「ケースメント」があります。一見レースのように見えますが、ドレープのようなボリュームもあり、単体でも使用することが出来ます。



お客様の病室にて

先日、突然の汚れが出てしまった病室のカーテンの交換に伺った時のことです。4人部屋の、ちょうど5・6歳ぐらいの女の子のベッドのカーテンが汚れてしまっていました。

女の子は元気で、交換作業を始めると興味津津。カーテン交換中も、作業のスピードに「速～い」、代えのカーテンに「きれい！」などと反応してくれて、部屋内を活気づけていました。

交換が終了して、部屋を出る際に一言お礼を言うと、女の子は、「あ～よかった！ぐっすり眠れそう！」と言ってくれました。

カーテンの交換という仕事は、ただ清潔さを保つだけではない。患者さんの「ぐっすり眠れる」という快適さを提供するための大切な仕事なんだと感じた瞬間でした。

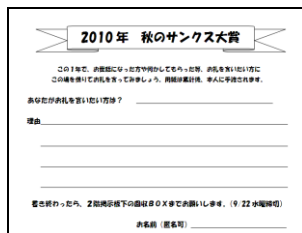
社内活性化通信

～300の「ありがとう」を流通する仕組み～

当社は現在 50 名弱の従業員で構成されています。30 年前に現社長が 1 人で創業し、ここまで事業を拡大してきました。

このように人数が増え、雇用の機会が創出されるのは喜ばしいことですが、一方組織は大きくなると問題を抱えます。その問題の一つが「コミュニケーション」です。少人数だった頃にはお互いが心通じ合い、あ・うんの呼吸でやってこれたのですが、人数が増えるに従ってそれが難しくなってくるのです。

当社も例外ではなく、他部署に対する興味関心が人数増とともに薄れ、また感謝を伝える機会も段々減ってきてしまいます。このような現状には人数が増えた状態に応じた「仕組み」が必要になってきます。当社で行った仕組みが「サンクスカード」です。



2010年 秋のサンクス大賞

この用紙で、お世話になった方や同僚に感謝の気持ちを伝えたい方に、お礼の手紙を書いていただき、同僚や上司、部下、顧客などに配布してください。

お礼の手紙を添えてください。

理由： _____

書き終わったら、2枚用紙裏面の封筒に封入し、(9/22 金曜日) 封入後、(封入後) _____

「サンクスカード」の機会は半年に1回です。約 2 週間程の期限の間に、A4 半分の用紙に感謝したい人の名前を書き、その理由を書いて所定の提出箱に投函します。何枚提出しても OK で、一番「ありがとう」をもらった人にはちょっとした景品を進呈します。

提出期限の 3 日前ぐらいになると、従業員が帰り際に一生懸命カードを書いている姿を見るようになります。自分の上司・部下・部署の同僚だけでなく他部署の仲間に向けたり、中には全員に必ず書く人もいます。

3 回目を迎えた前回 10 月の時には、合計 300 枚のサンクスカードが流通しました。カードは集計後、各自に手渡されます。渡された従業員は少し嬉しそうにサンクスカードを眺めます。300 の感謝が社内には流通しているひと時でした。

医療ブックレビュー「今月の1冊」

このコーナーでは、お客様のことをもっと知りたい・役に立ちたい！という想いのもと、書籍から得た学びをご紹介します。



『建築医学入門』

―代替医療としての住環境―

一光社 松永修岳(著), 常津良一(監修)

2006 年 11 月 30 日 初版発行

2010 年 6 月 18 日 改訂版発行

今回ご紹介させて頂くのは、住環境と健康の関係を説いた「建築医学」に関する一冊。

生活習慣を作るのは住環境であり、住環境が個人の性格や健康状態に影響を与えるという考えで、良い「場」に身を置く事で病息を防いでいこうという代替医療の試みです。

住環境には配置や色、素材など様々な要素があり、それらと人の体との相関関係を細かく紹介しており、私たちインテリアに携わる身としても大変勉強になりました。

家作り、施設作りの前に押さえておくべき建築医学の手引書として応用できる一冊なのではないでしょうか。

※このコーナーの書籍は、当社の社員ブログにてご紹介している書籍の中からの選りすぐりの1冊をご紹介します。ブログも是非ご覧ください。

<発行>



キングラン東海株式会社

【本社】 〒442-0811 愛知県豊川市馬場町業師 75 番地

TEL : 0533-89-4545 / FAX : 0533-89-2282

【沼津営業所】 〒410-0022 静岡県沼津市大岡 1756-34

TEL : 055-964-4555 / FAX 055-964-4560

【キングラン東海(株) 公式ホームページ】

<http://www.kingrun-tokai.co.jp/>

【社員によるブログ「カーテン営業マンの日常」】

<http://kingrun.blog40.fc2.com/>